



児童養護施設と発達障害に関する研究

教育学部児童教育学科 准教授 吉田 耕平

キーワード

児童養護施設、発達障害、ADHD

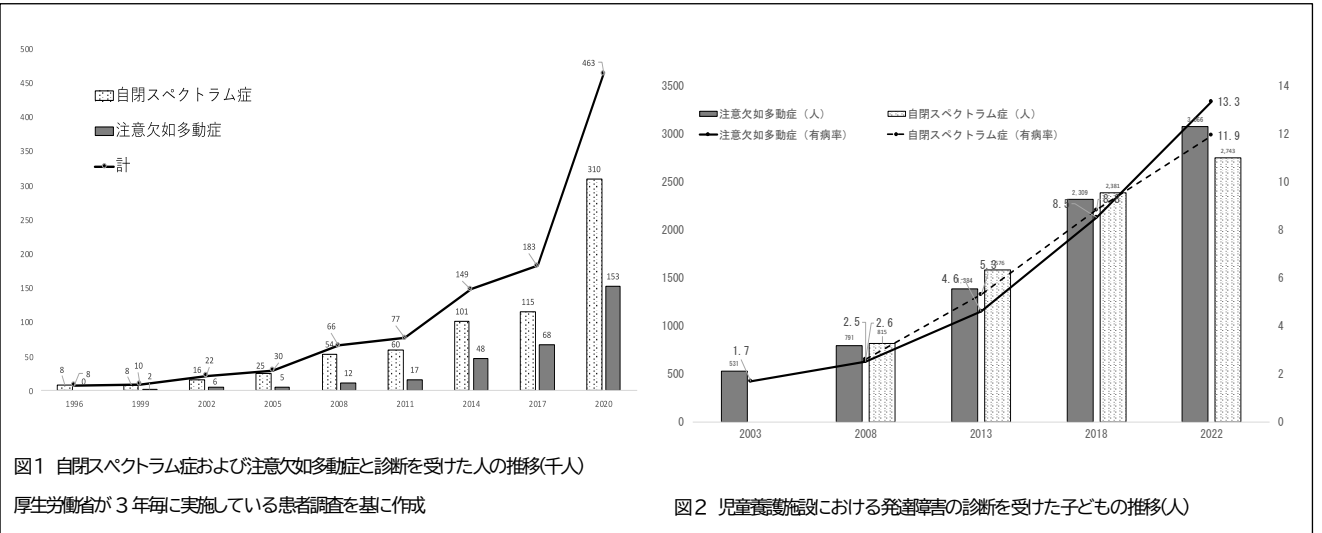
該当するSDGs



1 研究内容

図1に示すように、1990年代から2000年代にかけて、日本でも自閉スペクトラム症や注意欠如多動症といった「発達障害」の診断を受ける子ども(大人も含む)の数が増加し、この「発達障害」をめぐっては、教育学や心理学、社会福祉学などの分野でさまざまな議論がなされています。

私は医療社会学の医療化論の視座から、なぜ2000年代という時期に、日本国内で「発達障害」が広がり始めたのか。特に、「発達障害」の診断を受け向精神薬を服用している子どもが増加している児童養護施設を中心に(図2)、どのような経緯で「発達障害」の診断名が付与され、薬物治療に至っているのか研究を行っています。



2 連携可能性のある研究分野, 又は、これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

・発達障害の診断を受けた子どもの支援をおこなっている児童養護施設や教育機関との連携および共同研究を希望します。

これまでの連携実績

- ・高等学校の探究学習に係る講師
- ・高等学校のキャリアデザインとして出張講座
- ・山形県最上地区私立幼稚園教育研究会(研修会講師)
- ・山形県村山市保育補助者養成セミナー(担当:社会的養護)
- ・山形県免許更新講習(専門領域:児童福祉分野)

問合せ先 福山市立大学事務局総務課

TEL:084-999-1112 FAX:084-928-1248 MAIL:soumu@fcu.ac.jp